

CELLIST™ BASAL Medium (Model No. BASAL3P)

品名	型番	包装	内容量
CELLIST™ BASAL Medium	BASAL3P	1 L 用アルミニウムパウチ	28.0 g

製品の特長:

- 成分が既知（Chemically-defined）であり、動物由来成分を含みません。
- 加水分解物などの組成が不明な成分を含みません。
- 成長因子類などのタンパク質を含みません。
- ヒボキサンチンおよびチミジンを含みません。
- L-グルタミン源を含みません。
- 炭酸水素ナトリウムを含みません。
- ポロキサマーを含みます。
- 10.0 g/L のグルコースを含みます。

保管条件:

液体調製前の粉末培地は、暗所の冷蔵（2-8℃）にて高い湿度を避けて保管してください。液体調製後は、暗所の冷蔵（2-8℃）にて保管してください。

液体培地の調整方法:

表 1 1L 培地調整時の各種パラメーター

培地 粉体重量	NaHCO ₃ 添加量	水の添加量	pH*	浸透圧*	調整後 培地重量	比重（室温）
28.0 g	1.8 g	986 mL (986 g)	6.8-7.2	310-330 mOsm/kg	1010 g	1.01

*参照値

- 適切な容器と撈拌子を準備します。重量ベースで調製する場合には、容器と撈拌子の重量を測定してください。
- 容器に 90%容量（900 mL）程度の細胞培養グレードの水（室温）を入れます。
- 本品パウチの全量（28.0 g）を容器に加えます。少量の細胞培養グレードの水をパウチに入れ、パウチに残った本品を容器に洗い込みます。
- 1.8 g の炭酸水素ナトリウムを添加します。
- 本品が完全に溶解するまで約 20 分撈拌します。
- 細胞培養グレードの水で最終容量（1 L）に調整し、均一になるまで約 10 分撈拌します。この時、表 1 に従い重量ベースでのメスアップも可能です。
- pH が 6.8-7.2 であることを確認します。もし範囲外の場合は HCl もしくは NaOH で調整してください。
- 無菌条件下で 0.20-0.22 μm 孔径のフィルターを用いてろ過滅菌をします。
- 使用まで暗所にて冷蔵（2-8℃）保管します。
- 使用直前に、L-グルタミンまたは AminoStable™を溶液に加えます（最終濃度 2~6 mM を推奨）。また必要に応じて、成長因子類（インスリンや IGF-I など）を添加します。

使用用途:

- 本製品は研究用途に使用される培地です。それ以外の目的には使用しないでください。
- 製造へのご使用につきましては、下記までお問い合わせください。

味の素ヘルシーサプライ株式会社

アミノ酸営業本部

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目 19 番 8 号

Mail: ahs_iyaku@asv.ajinomoto.com

TEL03(3563)7577 FAX03(3563)3221